

## 浜岡原子力発電所の敷地および周辺における津波堆積物調査の状況について

2013年4月24日

当社は、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震および国の動向を踏まえ、浜岡原子力発電所の敷地および周辺における過去の津波の発生状況について確認するため、敷地および周辺の各地点においてボーリング調査を行うこととしました。

([2012年8月21日](#) 調査計画お知らせ済み)

当社は、計画に従い2012年8月から12月にかけて敷地および周辺(敷地東側、箆川流域、新野川流域、菊川流域)において30ヶ所のボーリングによって試料採取を行い、泥、砂、礫などの地層の厚さや重なり方などの性状や深さの観察、珪藻等の微化石の分析および年代の測定などにより、堆積層ごとの年代や環境の評価を行っているところです。

また、敷地内において、泥が堆積していると思われる箇所を選定してボーリングを実施しましたが、一部で泥の堆積が確認できなかったことから、本年3月には敷地内で4ヶ所の追加ボーリングによる試料採取を行いました。

当初の計画では、本年3月を津波堆積物調査のとりまとめの目標時期としていましたが、上記のように3月までボーリング調査を行ったほか、当初予想より分析や評価に時間がかかっていることなどから、とりまとめは本年9月頃になる見込みです。

以上